学校番号	301

令和５年度　地理歴史科

教科	地歴公民	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史Ｂ 改訂版（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史、日本史重要史料集（浜島書店） 要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近世（江戸時代）から近現代の学習を深化します。第一に、歴史を流れの中で理解する。その出来事が歴史の流れの幹にあたるのか、それとも枝葉なのかを見極め、きちんと整理していく必要があります。第二に、日本史を世界史の一部として捉えていくことが大切です。第三に、史料、地図、統計を読めるようにする。名称を覚えたかではなく、説明できる力が必要です。

2　学習の到達目標

１．近世から近現代の我が国の歴史の展開を学び、世界の歴史とのつながりを意識させる。
２．歴史的思考力を培い，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	レポート課題 討論・発表 振返り	定期テスト （論述問題）	定期テスト （史料の読取り）	定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	幕藩体制確立と展開	江戸幕府の諸制度・支配機構の確立と鎖国・外交について学習する。近世封建制度の完成の過程から確立後を学習する。諸産業・文化の発展、三都の発展などで歴史を身近なものと実感させる。	○		○	○	a: 幕藩体制の成立と安定について、意欲的に学んでいる。 b: 幕藩体制の成立と安定について、課題を見いだして、多面的多角的に考察している。 c: 諸史料が活用できている。 d: 知識を身につけている。	レポート課題 討論・発表 定期テスト ノート提出 振り返り
	幕藩体制動揺・幕末・明治維新	幕政改革・後期の文化、鎖国体制の動揺について世界の流れを意識しながら幕末からわが国の近代国家としての始まりを世界史的な視野で理解させる。		○	○		a: 産業・経済の発展や化政文化・幕政改革等について、意欲的に学んでいる。 b: 幕藩体制の構造的課題を見いだして、多面的多角的に考察している。 c: 諸史料が活用できている。 d: 知識を身につけている。	定期テスト ノート提出 振り返り
後期	近代日本の形成と世界	立憲国家成立と日清・日露戦争・韓国併合までを学習し、近代国家としてのわが国の歴史を世界の流れと対比する。社会・文化の変化に着目して、我が国の近代国家の形成と現代とのつながりを意識させる。	○		○	○	a:近代国家日本の成立と発展について、意欲的に学んでいる。 b:近代国家日本の成立と発展について、課題を見いだして、多面的多角的に考察している。 c: 諸史料が活用できている。 d: 知識を身につけている。	振り返り 定期テスト ノート提出
	現代の日本と世界 両世界大戦期の日本と世界	大正時代から太平洋戦争までの経過について、内外情勢の変化を理解させる。第二次世界大戦後の復興，国際社会への復帰，経済発展と現代の日本について，世界の動向と関連づけるとともに，我が国の課題と役割について考察させる。	○	○	○	○	a: 20 世紀の日本について、意欲的に学んでいる。 b: 20 世紀の日本について、課題を見いだして、多面的多角的に考察している。 c: 諸史料が活用できている。 d: 知識を身につけている。	振り返り 定期テスト ノート提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。